

# 令和8年度 群馬県立県民健康科学大学出前講座一覧

■このページのお問い合わせ先：県民健康科学大学 学生図書企画係

TEL：027-235-1332

FAX：027-235-2501

E-Mail：gakusei@gchs.ac.jp

番号	テーマ	内容	対象			時間 (分)	説明者
			一般	子ども	高齢者		
1	【健康寿命延伸プログラム】 いざという時のために知って備える心肺蘇生法	いざという時に慌てず対処できるよう一般の方向への緊急時の対応についてやさしくお話しします。心臓マッサージの方法やAED（体外式除細動器）の使い方について実際に一緒に体験してみませんか。（実技体験可能、初心者の方の方が対象です）	○			60	准教授 橋本 晴美
2	【健康寿命延伸プログラム】 「はたらく人のストレス—からだの声を聴く—」	はたらく人がどのようなときにストレスを感じやすいのか、その仕組みを知ることによって各人に合った対処方法を考えます。また、人間関係の振り返りに有効なプロセスレコードの使い方を紹介します。	○			60~80	講師 垣上 正裕
3	【健康寿命延伸プログラム】 生活習慣病の予防と対応策	糖尿病、高血圧、高脂血症などに代表される生活習慣病の発症やコントロールには、日頃の生活習慣が大きく影響します。生活習慣病を予防し、また管理していくための知識と対策を一緒に考えていきましょう。	○			60	教授 廣瀬 規代美 講師 浅見 優子
4	【健康寿命延伸プログラム】 血液や血管と生活習慣の話	血液と血管は健康のパロメーター。体やこころを健やかに保つための生活習慣についてお話しします。（人数の上限はありませんが、20名程度以下でしたら体験型の内容を含めることも可能です。ご相談に応じます）	○		○	60~90	講師 大澤 康子 高橋 美穂子
5	ボディメカニクスを活用して 看護・介護の対象者の身体を動かしてみよう	身体の特徴（ボディメカニクス）を活かした技術を用いることにより、小さな力で大きな効果をあげられるだけでなく、看護や介護をする人の腰痛なども予防できます。自分では動けない人の身体を動かす技術の仕組みと実際を紹介いたします。 ※この講座は実技です。身体を動かしながら学びましょう。	○		○	60~90	准教授 佐藤 正樹
6	家庭で活かす看護技術「床ずれを予防するための工夫」	床ずれを予防するためには、まず、その原因を理解する必要があります。床ずれの原因とご家庭でも簡単にできる予防方法、床ずれができてしまったときの処置方法を説明します。	○		○	60	教授 山下 暢子
7	訪問看護って何？—病気があっても家で暮らすには—	訪問看護は、看護師等が自宅で療養している人の居宅を訪問し、かかりつけ医の指示に基づいて看護を提供することです。長く入院することが難しい現在において、病気があってもできるだけ家で生活するためにはどんな方法があるのか説明いたします（訪問看護師からも具体的なお話をします）。オンラインでも対応いたします。	○		○	60	教授 清水 裕子
8	最期まで自分らしく生きよう！	「終活」「エンディングノート」など自分の人生をどう生きるか、ということが話題になる時代になりました。最期まで自分が希望する医療やケアを受けるにはどうしたらいいのか、今からできることをご紹介します。（訪問看護師から家での緩和ケアの実際についてのお話もあります。）オンラインでも対応いたします。	○		○	60	
9	【健康寿命延伸プログラム】 手・足・口を使った頭の体操で脳を活性化しよう！	認知症は年を重ねれば誰にでも起こりうるとも身近な病気です。少しでも認知症の発症時期を遅らせることが出来るように、生活における工夫をお話しし、手足口を使ったゲームなどを通して一緒に頭の体操をしませんか？（30人程度を上限とします）			○	90	准教授 上山 真美 講師 樋口 友紀
10	妊娠期から生後1歳頃までの子育て 夫婦一緒に子育てしましょう！	新たにお子さんを迎えるご夫婦や家族、子育て支援者を対象に、親になるための準備や育児技術、胎児の能力と発達、出生後～1歳頃までの発達と育児、周囲の方からのサポート、手作りのおもちゃ、育児期の心理面などについてもお話しします。（20人程度を上限とします）	○	○	○	60	教授 行田 智子 講師 塩澤 麻子 助教 三橋 寛子
11	赤ちゃんとのふれあい、ベビータッチングケア	生後2~7ヶ月頃（1歳未満まで可）の赤ちゃんへのベビータッチングケア（ベビーマッサージ）の仕方をお話しします。ケアは15分くらいです。赤ちゃんと一緒に楽しいひとときを過ごしたり、育児の相談もしたりしませんか。	○	○		60	
12	【健康寿命延伸プログラム】 子どもの事故防止	子どもの死因の上位に「不慮の事故」があります。子どもの安全を守り、健やかな発達を支援するためには、子どもの物事の理解のしかたに関する知識が助けになります。発達理論や研究成果を用いてお話しします。また、演習を通して日常的に遭遇しやすい事故について一緒に考えていきましょう。	○			60	教授 櫻井 美和 講師 富永 明子 久保 仁美 助教 山岸 昌平
13	【健康寿命延伸プログラム】 「生理（月経）」と上手に付き合おう	毎月の生理（月経）を憂うつな気分でも過ごしていませんか？職場や学校で困っていることはありませんか？月経は女性の健康のパロメーターでもあります。少しでも、月経中の生活を快適に過ごすためのヒントをお話しします。また、月経のメカニズムや月経による女性の心理変化についてもお話ししますので、男性でも参加していただけます。（40人程度を上限とします。） （※内容は対象者に合わせます。）	○	○※		45~90	講師 生方 尚絵 （助産師 / 性教育認定講師）
14	MRIによる記憶機能検査の点数予測	脳の機能に対してMRIを用いた様々な研究が行われていますが、中でも水の「拡散」の計測や化学物質の濃度を測る技術があります。これらを用いた脳記憶機能予測や、脳年齢予測について紹介します。	○			45~60	教授 佐藤 哲大
15	CT・MRI検査	人体のいろいろな病変がCT検査、MRI検査でどんな画像として描出されるか解説します。	○	○	○	60	
16	放射線の影響について	病院で行われている種々のX線検査は安全であるのか？、放射線の影響は心配ないのか？、どのくらいの放射線を受けるのか？、このような疑問について放射線防護の考え方を説明し、お答えします。	○	○	○	90	診療放射線学部 担当教員
17	身近な放射線	放射線に対して興味や疑問をお持ちではないでしょうか。良きにつけ悪きにつけ、欠く事のできない放射線について科学的諸特性や測り方および利用方法についてお話しします。放射線について正しい知識を持っていただき、放射線利用の世界を覗いていただきたいと思います。	○	○	○	60~90	
18	うっかりミスはなぜ起きる	身近な事例紹介や、実際にうっかりミスを体験していただき、そのメカニズムや防止策についてお話しします。内容の都合上、90分以上の時間があると体験から防止策まで十分にお話し可能です。（※対象：中学生以上）	○	○※	○	60~120	教授 五十嵐 博
19	環境中の放射線（能）	2011年に起きた福島第一原子力発電所の水素爆発事故以来、群馬県を中心に放射線量およびセシウム濃度に関する調査を行ってまいりました。群馬県およびその隣接県、伊豆大島などのデータを公開しながら、環境中の放射線（能）について説明します。	○			60~90	准教授 杉野 雅人

20	放射線被ばくの無いMRI検査とは	画像診断の1つであるMRI(磁気共鳴画像)について原理から検査までを、わかりやすく解説いたします。磁石の力をどのように利用しているのか?またMRI検査でどのような病気がわかるのか?そして検査を受ける際に注意すべきことなどを解説いたします。	○	○	○	30~60	教授 林 則夫
21	【健康寿命延伸プログラム】元気にいきいき生活するために!	毎日いきいき生活するためには、「からだ」だけではなく「こころ」も元気であることが大切です。健康に関するお話と、笑いヨガ、または、リラクゼーションなどを一緒に体験します。	○		○	60	講師 鈴木 惠理 高橋 美穂子
22	「がんとともに生きる」を支える～がん看護専門看護師の役割	病院でがん看護専門看護師として働いた経験をもとに、がんと向き合う患者さん、ご家族に対する看護について、お話しします(内容は対象に合わせます)。オンラインでも対応いたします。	○	○	○	60	教授 清水裕子
23	【がん教育】 がんについて知ろう	全国の小中高校でのがん教育が推進されています。小中高校の児童・生徒には年齢に合わせてグループワークを取り入れながらがんについて、がんとともに生きる方たちへの理解が育まれるよう話します。がん教育を今後実施していく先生方には、がんについて情報提供し、がん教育を実施していく上での悩みを先生方と共有し、子どもへのがん教育を実践していくお手伝いをします。	○	○		40~90	教授 清水 裕子 講師 久保田 好美
24	医学物理と医療統計を理解するために必要な一般数学	がん放射線治療において医学物理学や医療統計学の考えが必要となる場合があります。これらは中学数学や高校数学が土台となります。学校で勉強している、あるいは既に勉強した数学が医学物理学や医療統計学にどのように役立つかについてお話しします。(※対象と内容はご相談ください。)	○	○		60	助教 津野 隼人
25	怒り・イライラに振り回されない子育て	不必要に子どもを怒りすぎでしまったり、反射的に子どもを怒鳴りつけてしまったりしたことはないですか?子育てに役立つアンガーマネジメント(怒りの感情と上手に付き合う心理トレーニング)についてお伝えします。(※対象と内容はご相談ください。)	○	○		60~90	講師 島田 葉子
26	安心して医療を受けるために ～医療に関わる法律・制度、しくみ～	けがをしたり病気になった時、良質で適切な医療を安心して受けるために、医療に関わる法律・制度、しくみのお話をします。群馬県やお住まいの地域の体制(群馬県保健医療計画)やマイナ保険証(マイナンバーカードの健康保険証)、普段からの心がけなど、身近な話題を取り上げます。	○		○	60	講師 大澤 康子
27	【健康寿命延伸プログラム】糖尿病を防ぐ!悪化を防ぐ!今日からできる食事と運動のコツ	糖尿病やその悪化は、正しい知識を持ち、普段の生活を見直すことで予防できます。糖尿病とは何かをわかりやすく解説し、糖尿病やその悪化を防ぐために今日から実践できる食事や運動の工夫を紹介いたします。難しい制限ではなく、ちょっとした工夫で無理なく続けられるポイントを学び、一緒に健康的な生活を目指しましょう!	○		○	60	講師 鈴木 美雪 坪井 りえ 助教 高橋 佳織
28	【県内病院連携事業(医療機関等対象)】 化学療法に伴う味覚変化症状の アセスメントと支援方法の検討	がん化学療法に伴う味覚変化症状の評価と基本的な対処方法についてお話しするとともに、分子標的治療薬等対処が難しい味覚変化症状を抱える患者さんへの支援について一緒に考えます。Webや対面による院内カンファレンスへの参加や相談対応を予定しています。 ※看護師・栄養士等医療従事者向け	○※				教授 狩野 太郎
29	【県内病院連携事業(医療機関等対象)】 「がんとともに生きる」を支える ～がん看護専門看護師の役割～	病院でがん看護専門看護師として働いた経験をもとに、がんと向き合う患者、ご家族に対する看護について、お話しします(内容はご相談に応じます)。	○			60	教授 清水 裕子
30	【県内病院連携事業(医療機関等対象)】 専門性の高い看護師とは?	近年、日本看護協会が認定する専門看護師、認定看護師だけでなく、特定行為研修に係る研修を受けた看護師、特定認定看護師など、専門性をもつ看護師が増えています。資格や研修の過程、役割など説明いたします。	○			60	教授 清水 裕子
31	【県内病院連携事業(医療機関等対象)】 高齢者(認知症の人)の フィジカルアセスメント	必要に応じて具体的な内容に焦点を絞ります。	○				准教授 戸谷 幸佳
32	【県内病院連携事業(医療機関等対象)】 認知症看護	必要に応じて具体的な内容に焦点を絞ります。	○				准教授 戸谷 幸佳
33	【県内病院連携事業(医療機関等対象)】 超高齢者の エンドオブライフケア	必要に応じて具体的な内容に焦点を絞ります。	○				准教授 戸谷 幸佳
34	【県内病院連携事業(医療機関等対象)】 眠れない!認知症のある 高齢者への睡眠支援について	認知症のある高齢者の睡眠支援についてお話しします。また、オンラインや対面での事例検討会やカンファレンスで認知症のある高齢患者さんまたは利用者さんの睡眠支援について一緒に考えていきます。 ※看護師や介護士等で認知症のある高齢者の患者さんまたは利用者さんに関わる方	○※				講師 鈴木 峰子
35	【県内病院連携事業(医療機関等対象)】 今日からはじめる 転倒予防一高齢者が 住み慣れた家で、安心して暮らし続けるために	ご相談に応じます。	○				助教 福田 未来